

「理念経営道」のセオリーを、忠実に企業経営で実践した実例

(株)&C・HosBIZ センター

Captain 平本

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

*はやぶさ2の取材にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げますとともに、読者の皆様にもご支援を賜りますことを、深くお礼申し上げます。

*この2つの事例をもとに、「理念経営道」のセオリーを解説いたします。

*「理念経営道」とは、「経済活動」と「精神活動」を大調和させて、「恒久平和＝ミロクの世界」を実現するため、億年単位の努力もいとわないで肉体をもって推進し、その過程で「経営者の器＝徳目・人格」を高める「道」であります。

・経営者や経営支援家は、LittleBiz 企業や中小企業の経営や支援をとおして、自分もワクワクし、「世のため・人のため」なる生き方ができるチャンスに恵まれているのですから、全身全霊をかけて取組めば、必ず使命は果たせるでしょう。

★考察は、自論である「理念経営道」のことばで述べますので、お二人の考えとギャップがあるでしょうが、お許し願って考察をすすめてまいります。

【その1】

■若き社長の「理念経営」の実戦事例 *****創業経営者
自ら気づいて独学で築き上げた「理念経営」実戦の道筋

有限会社 ゼスト

代表取締役 佐藤 大輔氏

<https://zest-grp.com/about>

*記事:目次……内容はバックナンバーを参照ください……

◆第1回 運送業の父の元に生まれて……………637号/24/2/10

◆第2回 気配りとお手伝いのブラック企業……………638号/24/2/17

◆第3回 「理念」の大切さに気付かされた社長デビュー・・・639号/24/2/24

◆第4回 社員の幸せに一番近い人が社長をやるべき・・・640号/24/3/2

★バックナンバーは

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_555.pdf

【その2】

■2023年の春からの連帯保証の禁止により資金調達方法に激震から「直接金曜」時代へ

*****クラウドファンディング（EFC）のパイオニアで「実績No.1」の経営支援家

・ 中小企業が激動の時代の前代未聞の大チャンスを活かす方法！

株式会社 パブリックトラスト

代表取締役 佐藤 公信氏（以下：佐藤 EFC 支援家と云います）

<https://publictrust.co.jp/free/profile>

*記事：目次・・・内容はバックナンバーを参照ください・・・

◆第1回 銀行が貸さない!? 激動の時代の幕開け・・・645号/4/5

◆第2回 誰でも挑戦できるようになった・・・646号/4/12

◆第3回 資金を集められる経営計画と集められない経営計画・・・647号/4/19

◆第4回 社長が自分らしく生きて行く・・・648号/4/26

★バンクナンバーは

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_563.pdf

■では、その1・・・有限会社ゼスト CEO 佐藤 大輔氏の記事の考察をいたします。

・実父と同じ運送業ですが創業経営者として、自分の経験知を活かして独学で「**理念経営**」を実践されていることが、高評価いたしております。

★三つ子魂百までも

佐藤 CEO の学びの道程は、家庭の教育熱心さや環境が反映されていると考察いたします。実父の「働き方・経営姿勢」を肌で観じて育ち、ケーキ屋のおじさんから影響を受けて育って、この経験知が「人生の財産」になっていると観じています。

★その時その時に、導いてくれる「貴人」にであっている

福島大学に進学し、経営について、深い知見を持つ飯田史彦先生のゼミに所属した

佐藤 CEO は、職業に貴賤がなく、取り組み方と「人を育てる」ことの大切さを学びました。

・就職した㈱ムーブはブラック企業で、過度の残業や休日出勤が常態化しており、1日16時間・年間300日働いていましたが、驚くほど従業員が辞めない会社でもあったのですが一体何が彼らを留まらせているのか？
そこに従業員満足の本質があるのではないかと観じたのでした。
この経験は、独立創業した後の「理念経営」の礎になって、大きなエネルギーを生みだして生きているのです。

・㈱ムーブの社長（遠い縁戚）の「独立したら・・・」の言葉を受け、故郷（福島・郡山）に戻り、起業へと踏み出したのです。
資本金は妻の母の生命保険金を充て、妻には専務取締役として会社の経理を一手に担ってもらいました。

★強い信念と情熱を持っている

『努力した者が全て報われるとは限らん。

しかし、成功した者は皆すべからく努力しておる！！』・・・・・・努力はウソをつかない

*どんな困難な課題・試練でも、創意工夫して従業員は現場に対応して「燃える集団」になることを経験知として認識したのでした。

つまり、お客様に感謝されることを喜びとし、それを使命として行動することができていれば「燃える集団＝チーム」となり、「良貨は悪貨を駆逐する」企業文化が生まれて人が育つ風土ができるのです

★経営課題や近未来の経営環境に適合するために、「自己啓発」と「変態脱皮」ができる

まさに理念経営への目覚めは、「朝」の倫理法人会での「理念の学び」と、「夜」の商工会議所青年部での「人間の行動原理の学び」から得られ、組織運営のポイントの体得や交友関係も広げて行ったのでした。

★経営理念を実践するために、地域で必要とされるビジネスに挑戦を続けている

本業の運送業においても、「我々が運んでいるのは荷物じゃなくてお客様の想いなんだよ」と言い聞かせます。

*そうした理念で、福島県地域で役立つビジネス・サービスに挑戦していることは、雇用の創出を含めて地域の振興や東北大震災（0311）の復興回復進行中ですが、まだまだ大きな課題が残っていますので取組まれていることに敬服いたします。

・「一般社団法人 えがお福島」を皮切りに

「(合) はじめの一步」

「一般社団法人 BIG HELLO=障がい者就労継続支援 A 型事業所」

と、活動を進化させ、広げて挑戦をしているのです。

★日本の未来をどうするか、次世代へ受継ぐモノはなにか。を考えている。

理念経営における根幹的な命題で、そのことを思考しながら経営していることは正に「**理念経営道**」を推進されているのです。

・今の日本をどうしたらいいのか、もっともっと真剣に考え、行動していかないと自分だけ良ければそれでいいではよくないはずです。

*そのとおりです。ビジネス活動をする過程において「人を困らせたり」「地球環境を破壊する」ことは、絶対にしてはなりません。

・これからやる事 私は国の成り立ちの根本は「教育」だと思っています。

*戦後の「教育=偏差値・記憶型」は問題点が多くあり、人間性が歪められているとして「**啓育=創造力・文化や歴史に対する共感力**」の必要性が高まって来て普及が始まっており、各地・各分野で具体的な活動が始まっており、HosBlz でもNPO をとおして、子供たちとの活動支援を準備しております。

NPO 愛の星 HeartGaia

<https://kazuzohan.clickfunnels.com/squeeze-page1665426322580>

★今後の課題と取組みについて

・ただ、私の指導不足で「後進」がまだ育っていないことがこれからの課題です。
との自戒ですが大いなる可能性を観じております。

*今までの数々の経験や貴人との出会いは、これから解決しなければならない、より高次の「課題解決」のための「**訓練・修行**」なのです。

ムダになることは、一つもないと82才の人生経験を通して、断言できます。

全身全霊をかけて解決できない課題は、その人に出現しないのが天意でもあるのです。

努力を続ければ、天意に取って必要ならば「**神人合一**」となって必ず実現します。

もし、実現できなければ後に続く者に任せればよいのですから……

人々を「幸せ」にすることは時間がかかっても実現すると、私は確信しておりますので、迷わずに「**理念経営**」を推進してくださることを祈念申し上げます。

ありがとうございます。

■次に、その2 株式会社 パブリックトラスト の記事を考察いたします。

佐藤 EFC 支援家・・・と表します。その1と同姓ですので・・・

*佐藤 KFC 支援家の経歴や実績はバックナンバーを参照していただき、中小企業を取り巻く「金融政策」が、23年春から「間接金融」から「直接金融」時代へ激変しておりますので、経営支援家として同業立場から、考察させていただきます。専門分野が異なりますが、LittleBiz 企業・中小企業の「進化・発展・持続」を願っているのは共有していると認識しており、50年間500社の経営支援の経験知で述べます。

★各論に入る前に、近未来の「LittleBiz 企業・中小企業」の経営環境がどのように変化すると想定しているかを述べます。

*従来型のサプライチェーンは解体・再編成の時をむかえていると観察しております。「コロナ禍」で環境が激変したうえに「ウクライナ戦争」や、「イスラエル X ハマスの戦争モード」は、国際情勢に大きな影響を与えており、企業活動はもちろんのこと、私たちの「食生活」にも影響を与えている現状なのはご存じのとおりです。

*キーワードは「グローバル=インターナショナル」と「人類皆兄妹の意識」と、そして「地球環境の回復=SDGs」であり、「宇宙船・地球号の乗組員」の自覚と共生意識が求められて、子々孫々が生きて行けるように、GD4つのテーゼを考働として生きることが必須の時代がきており、若者中心に意識と価値観は大きく変わってきているのです。

GD4つのテーゼ=宇宙のセオリー

- 1) 個性を尊重し、その人らしく存在できるようにする（お互いにワクワク）
- 2) 共生・ワンネスで、命の価値は同じ。そして循環している（食への感謝）
- 3) 平和の実現をめざす。非闘主義を貫く（決して闘わない）
- 4) 個人・国家も主権不干渉を決して犯してはならない

（従属させて搾取してはいけない）

・そこへ、テクノロジーとしては「生成AI」が発達して、今までの経営技法・物流等も更なる「進化」を続けて、経営環境に適應できない企業（変態脱皮しない）は、市場から消えていくことは、その1でも述べました。

・現況では、欧米日の企業を中心に投資を「中国」から撤退する動きが広がっています。カントリーリスクのある国から引き揚げが始まっており、民主主義国家と独裁・覇権主義国家とのせめぎ合いが続いているのです。

自国民の食糧確保と生存権をかけて・・・・・・・・・・

世界情勢は、「グローバル・サウス」や「日・米・印・豪」の連携により更に激変していくことでしょうか、基本はどの国家体制もインターナショナル・ネットワークでないと持続できないことであり、宇宙のセオリー（GD4つのテーゼ）の規範の中にあるのです。

・孫悟空がお釈迦様の「手のひら」の中にあるような現象なのです。

*30年間施行されていた「**金融検査マニュアル**」が廃止されましたが、私見ではこの金融システムが「**失しなわれた30年＝国際競争力の相対的劣化**」の一因になっていると観じております。

・金融機関、特に地銀レベルと信金レベルは、融資先の経営力を見抜いたり育成する能力を放棄して「**信用保証協会の保証力**」と「**担保**」と「**経営者の連帯保証**」に頼って融資を続けてきたのです。

つまり、国の保証付きの融資代行をして、口銭を稼いでいたのです。

金融機関の経営力が付くはずがなく、今このツケを払っていて再編成は加速するでしょう。

・その対象である、「**零細とヤコされる小規模企業**」の全部と、「**中小企業**」の大多数は、会計システムとして「**税務会計システム**」で収支を計算して企業経営をしているのです。「**税務会計**」では、収益力はもちろんのこと「**先行投資**」資金を生み出す戦略情報はキャッチできないのは自明なのですが「**猫の首に鈴**」はつけられないのが現状なのです。

・上場企業や高収益企業が「**税務会計**」で企業経営をしてないのですから、「**企業経営には使えない**」ことは明らかなのですが、小企業では自社でできないために外部に依存しているのが現状であり今も続いているのです。

ここを対策しない限り泥沼（赤字体質）から永遠にでられません。

◆50年間500社「**倒産ゼロ**」の実績は、税務会計ではなく「**経営会計＝管理会計**」で、「**収益力＝原価計算・成長力＝先行投資・キャッシュフロー**」を測定して「**経営計画＝事業計画**」を策定して、伴走型で経営支援（詳しく後述）を実践してきた結果なのです。

★ここで、経済産業省は経済育成制作を大きく舵を切り、大転換を行っています。

「**中小企業庁**」の政策を強化しております。

すなわち支援対象を大企業一辺倒から、中小企業にも比重を置くように変更しました。

そこには、「**飴と鞭**」が用意されていますが、バランス良く政策を選択しましょう。

・その一つが、佐藤 EFC 支援家の専門の「**株式投資型クラウドファンディング＝EFC**」

です。そのパイオニアであり、実績No.1なのは素晴らしいことでもあります。

■では、各論に入りましょう

・金融政策（金融検査マニュアルの廃止・BIS規制の運用変更・連帯保証人の原則廃止等）の改訂。中小企業政策（EFC等）の強化等が実施され「間接金融」から「直接金融」に移行したことはすでに述べました。

*ここでは、「経営支援家の孝働基準」と「経営計画の機能」と「経営理念の根幹」について考察いたします。

・まず、「経営支援家の孝働基準」について述べます。

佐藤EFC支援家は、リーマンショック前に成功したと信じていた経営支援策が、リーマンショックを経験した結果、成功したと思っていた企業が全滅した経験を味わいました。

佐藤EFC支援家が、ここで自省したのが人間として経営支援家として「さすが本物」と観じさせられました。

多くの経営支援家はアドバイスはするが、長い時系列を見守ることはありませんで、その時稼げれば良いだけなのです。つまり、食うためであり企業が「幸せ」になることの責任感をもってないのです。

・50年間で多くの経営支援家志望の人と出会い、仕事を依頼しましたが「本物」の方はごく「ひと握」なのが実態なのです。

学歴・職歴・持っている資格で評価するのではなく、「実績」と「誠実」を見抜く眼力が必要ですが、その眼力（人を見る目）を養うには相当の月謝を払いまいし、今も修行中なのが実際のところです。

★佐藤EFC支援家が、問題提起されているのは「自分で考える力を体得する」ように、伴走として経営支援することが本来の在り方と述べている点です。

全く同感であり、「理念経営道」では常に「伴走型の経営支援」でやってまいりました。

どんな経営環境が出現しても「自助努力＝自分の生命力」で生き残れ子孫を残せる（持続）ようにサポートして、代行するのは難路（危篤状態）の生命維持が必要な時のみなのです。

*また、そうした危篤状態になると「お金にならない」と逃げだす、似非経営支援家がほとんどなのが実態で、職業倫理感を嘆いており「本物」を育てなくてはと決意して取り組んでいます。

力を合わせて実現してまいりましょう！！

・「消化」とは、自身の価値観との擦り合わせによる承認と拒否の決断、
「昇華」とは、価値観の明確化と言語化とさらにその言語のメッセージへの転換。
は、含蓄のある見解で与えられた「ヒント・アドバイス」を「昇華」できるのが
「人間の器」ではないでしょうか？

・つまり、自分の「**思考の癖、価値観、情熱の原点**」を、素早く認識して強化点を、貴人の力を借りることができるのです。

万能でオールマイティの人間はどこにもおらず、誰もが「総合相互」で共生しているので
すからむしろ「他人の助け」を受けることは「愛」の一つの形なのだと観じております。

★「**経営計画の機能**」は、**経営資源（人・モノ・金・“しくみ”・情報）**を強化する設計図
金融機関からの借入や、補助金や助成金をもらうためではなく、自らの「**信念と情熱**」を
かけて策定して実行しなければ望んだ成果は決して出ず、「**持続**」は困難なのはすでに述
べました。「**信念と情熱**」については次項で触れます。

・「**利益計画とキャッシュフロー**」を、税務会計の数字で作るのではなく
「**経営会計＝管理会計**」で策定するように改善すればよいだけです、
望めば2～3カ月で可能なのです。コストも小さく「**費用対効果＝コスパ**」は抜群に大き
いので・・・

*ご希望があれば、無料相談をご利用ください。

<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

★次に「**経営理念**」について述べますが、TOPの「**信念と情熱**」は「**理念経営道**」では
上位の「**存在理念**」で示します。

・「**経営理念**」は経営環境が大きく変わった時や、TOP体制が変わった時には変更される
ことはしばしばですし「**変態脱皮**」した時も変わりますので、「**理念経営道**」では、
「**創業の理念**」や「**社会的使命**」や「**伝承すべき企業文化**」は、時代を超えて伝承される
ように「**存在理念**」として掲げます。

・社長は自分らしくワクワクして生きるために、自分自身の魂のツブヤキを聴き取って
「**信念・使命感**」として、その実現のための「**情熱**」を言葉にして、ステークホルダーの
共感をいただくようにするのです。

これからの時代は、こうした価値観が大事にされ、ひとり一人がアーティストのように生き
て、その成果物で「**人々に歓び**」を与えながら「**共生**」していく時代になって行くのが
「**宇宙のセオリー**」でこの動きは加速しているものであり、企業戦略もそうした志向になっ
ていきますのは、観じておられるかと思います。

・例えば、**絵画・彫刻・音楽・演劇・映画・文学・漫画・工芸品・建築・作物づくり**

・**茶道・合気道・武道・医師・法律家・外交官・教育家等々**。そして、**経営者・事業家**。

・こんないい時代に現役の社長をやっていることを、最大限に活用して自己実現をしてください。不転の決意で「全身全霊」をかけて推進することを宣言した「経営計画」を実戦すれば必ず実現できることを断言いたします。

中村天風の言葉をお贈りします

まずは「人間を創れ」「魂を磨け」

さすれば 幸福は向こうから やってくる

◆◆「理念経営道」を多くの人々に知っていただきたいと「使命感」をもって念じておりますので、共感されます方はご連絡をいただければ幸いです。

拙書「理念経営実践のすすめ」46版 256頁 ¥2000

を「先着5名様」にプレゼントさせていただきます。

申込先：<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

改めて「オポティニティ・ZOOMセミナー」のご案内をお送りさせていただきます。

いかがだったでしょうか？

お役にたち「勇気と希望」を観じていただけましたか？

次回は

◆中小企業経営者列伝、第12弾。

社員の半分に辞められ倒産危機！からのV字回復！！

創業97年、高校中退社長のリアル雑草魂奮戦記

松本建設 株式会社 代表 松本 敬介氏

をお届けしていきますので、楽しみにしてくださいね。

それでは次回、またお会いしましょう。

著者：(株)I&C・HosBiz センター

編集長：岩下 一智 MRC

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍

渋沢栄一翁の 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

\*著者：(株)I&C・HosBiz センター

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart_gaia_gi@hosbiz.net

~~~~~ZOOM セミナーの予告~~~~~

## 「オポティニティ・ZOOM セミナー」

求めよ！さらば与えん！！

**\*\*今回の解説を、ZOOM セミナーで詳しく説明いたします\*\***

### ■テーマ：

「適者生存時代の”勝ち抜く“3つの条件」と

「経営計画書の策定と運用の point」

- ① オリジナルの企業文化があり、No.1 商材があるか？
- ② その文化が、言葉として「存在理念・経営理念」になっている
- ③ 全員参画型で「経営計画」を推進している（上記①②の実戦）

### ■日時： のち後、改めてご連絡いたしますが

改めて「はやぶさ」にて日時をご案内申し上げます。

### ■料金等は：無料

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく申し上げます。

次回は

◆中小企業経営者列伝、第 12 弾。

社員の半分に辞められ倒産危機！からの V 字回復！！

創業 97 年、高校中退社長のリアル雑草魂奮闘戦記

松本建設 株式会社 代表 松本 敬介氏

を

第 650 号 24・5・10（金）にお送りいたします。お楽しみに！

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員  
マーケット・クリエイター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC